

# 人間性復活

第 192 号

人間性復活とは、物質偏重の現代文明の中にあつて、人間の精神生活を重んじて、その復権をはか図ることにはかならない。

## 注意されるうちが華

一般社団法人 人間性復活運動本部 理事  
おかもとしげのり  
岡本茂典

老若男女、他の人から注意されなくなると、人間としての成長が止まります。なぜ注意されなくなるのでしょう？

歳を取った人には注意しづらい。注意しても、反発されるから言いたくない。何度注意しても変えてくれないから、言つてもしょうがない。などなど。

注意される側としては、年長者に向かつて偉そうに。自分が正しい、そう言うあなたが間違つている。あなたに言われたくない。と反発しているのです。

注意されることは、耳の痛いことで、注意されると、自分を否定されている気がします。ですから、聞き入れたくない、反発したくないのは、感情としては当然の反応と理解できます。しかし、どのタイプにも共通して重要なことは、心に謙虚さが欠けている、ということです。

しかしながら、「注意されるうちが華」、自分を良い方向に変えるチャンスと受け取り、素直に耳を傾けるべきでしょう。それに必要なのは、「言いにくいことを

注意してくれてありがとうござい  
ます」という謙虚な気持ちです。  
この謙虚さがあれば、華、です。  
まだ注意してもらえます。  
「こんな年を取つていても、注  
意してもらえないのは有難いこと  
です。言いにくいことを言つてくだ  
さりありがとうございます。」「自  
分は正しいと思つていましたが、  
至らない、間違つている点があり  
ました。それを気づかせて貰え  
ました、ありがとうございます。」「  
私に対してはさぞかし言いにく  
いことでしょう。勇気をもって注  
意してくださいありがとうございます  
ます。」「このような返答が、心か  
ら自然と言えるようになったら自  
分自身の成長になりますし、注意  
してくれた人との距離感が近くな  
り、人間関係が良好になります。

さて、謙虚の反対は傲慢です。

傲慢であることは、自分の成長を止めるだけではなく、自分の良さまで失つてしまいます。さらに人間関係を悪くし、孤立し、孤独になります。いずれ自分を理解してくれる人はいなくなり、一人ぼっちになります。そして、嘘を平気でつくようになります。悪循環にはまり込むことになり、そのことにさえ気づけなくなります。最悪の状態、ドツボにはまることになります。

謙虚、軽く聞こえるかもしれませんが、実は深淵な意味があります。私たちは須らく常に謙虚であり続けたいものです。バロメーターは「注意されるうちが華」です。

以上

# 会員の『声』 第13回

## あいさつ

さいたま支所（埼玉県）

もりい ゆきひろ  
森居幸啓

みなさんは、朝夕の出勤時に、職場以外の人とあいさつをしていますか。

以前、私は北海道の田舎の会社の社宅に住んでいました。会社の敷地内の社宅でしたし、隣家は遠く、あいさつすることはほとんどありませんでした。

現在は、群馬県に引っ越して住んでいます。職場まで、徒歩で約20分です。最初の頃、通勤途中で通学中の中学生から、「おはようございます」とよく声をかけられました。当初はびっくりしましたが、明るく返すようにしました。

群馬県は、運転免許保有率が全国で2番目だそうです。そのせいか、多くの人が車で通勤されているようで、通勤途中で歩いていられる方にはほとんど会うことはありません。こちらに来て、知人もいないこともあって、通勤途中で会う畑作業をしている人に、朝夕にあいさつするようにしました。そして、時々帰宅時に立ち話もするようになりました。いろいろ話をすると、その方はすでに仕事をリタイアされて、夫婦で健康のため、無農薬野菜を栽培していることがわかりました。その後、時々野菜をいただくようになり、畑以外の場

所でもあいさつするようになりました。さらに、私の仕事の話もするようになり、現在も良好な関係が続いています。

私が住んでいる地域は、桜の木が多く植えられています。春には目を楽しませてもらっていますが、幹を食べる害虫が増えてきているそうです。通勤途中で、害虫駆除をしている方に声をかけ、それがきっかけであいさつをかわすようになり、害虫駆除の苦労話を聞かせてもらうようになりました。

また、ある農家の入り口付近で、北海道にあったハスカップの実に似ている木を見かけたのですが、葉の形が違うので、後日その家の方がいらしたので聞いたところ、柊（ひいらぎ）の木ということがわかりました。昔から、魔除けのために植えられているそうです。

こうして、見ず知らずの人とのあいさつから、自分の世界が広がっていききました。わからないことがわかるようになるとうれいですし、通勤も楽しくなります。

これからも、地域の人達との小さな交流を心がけていきたいと思えます。

以上

# 人間性復活運動本部

## 三綱五常の教材化

金沢支所（石川県） 小山倫太郎こやまりんたろう

昨年の三月、金沢支所の人間性復活運動の発会記念集会上に、初めて参加させていただいた時に、運動展開の柱として「三綱五常」を取り入れていることを知った。「慈愛」は仁、「正義」は義、「礼節」は礼、「知識」は智、「誠実」は信、と教えていただいた時に、人の名前に使われている漢字が多いな、と感じた。

今の時代は、読み方を聞くまで読めない漢字の名前も確かに増えたが、調べたわけではないが、子どもたちの名前に使われている漢字としての割合は高いと感じた。ということは、今の時代も変わらず、親が子供の成長を

願う姿として、「三綱五常」は受け入れられるのではないだろうか。

そこで、私が考えたことは、ある意味職業病のようなものではあるが「三綱五常」を教材化できないだろうか、ということである。

私は現在、通級指導教室の担当教員として、公立の小学校に勤務している。通級指導担当教員は、教科指導を行わず、「自立活動」を通して子供を指導する。「自立活動」とは、「障害がある児童及び生徒の自立を目指して、教育的な活動を行う指導領域」とされている。指導するための教科書は存在しないので、市販の教材も使用するが、オリジナルな教材も多い。

私の悪い癖で、アイデアが出てもすぐに実行しようと思わずに一年が過ぎようとしているわけだが、この機会に具体的に教材化を進める一歩を考えてみた。自立活動には、六区分の内容が学習指導要領に定められている。この区分に合わせて、「三綱五常」がどの区分として指導できるかを考えてみた。

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3 人間関係の形成・「慈愛」「誠実」「正義」



4 環境の把握・・・「知識」

5 身体の動き

6 コミュニケーション・・・「礼節」

人間性復活運動の会員になったものの、  
いったいどうやって運動を推進していけば  
よいのか、方向性も含めて今の私には正直  
分からない。しかし、分からないからといっ  
て、今までと同じことをしているだけでは  
運動を継続するのが難しくなると思う。

これからの社会を担っていく子どもたち  
に目を向けて、自分のやれることを地道に  
行っていきたい。

以上



特別養護老人ホーム 療養部長の役割

## 管理がゆき届くと入居者の笑顔が 自然と多くなります



療養部長 中村京子

# 福寿園 みなみ野

特別養護  
老人ホーム

社会福祉法人 共助会



上記 QR コードで  
施設の動画が視聴  
できます。

### ●施設内の各部門の統括が主な仕事になります

——療養部長として、どのような仕事をされていますか。  
中村 私の部下として医療、看護、それに介護、リハビリ、ケアマネがいて、統括をすることが主な仕事になります。  
昨年四月から、看護と重点的に見るようにと言われ、そのようにやっています。介護と看護には、それぞれ課長がいますので、お願いしながら各部門の調節をします。  
具体的には、朝出勤すると、前日の夜間帯からの動きが情報としてパソコンに入っているのを、全部確認しながら、気になることを朝の申し送りが終わった後で書き出し、そのメモを持って施設内を回ります。  
体調が急変した入居者がいると、様子を見に行きます。その際、看護部から上がってくる情報の解決に、私が直接介入したほうがよいのか、その判断をするため、看護課長に現状を聞きに行くことがあります。  
入居者の皆様については、介護課長の下にユニットリーダーもいます。通常であれば、それらの人が調節をしますが、自分の目で見に行くこともあります。  
——各部門との調節は、難しいこともあるのではないですか。  
中村 昨年四月に、看護部を見てくださいと言われ、それまで

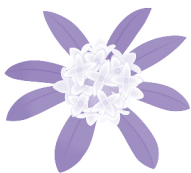
看護部に課長がいなかったのが、新たに就任された看護課長に、管理方法を教えながらやっています。  
管理については、他所の福祉施設での経験があると、何をすればよいか分かることですが、初めての場合、分からないと思います。例えば、主任の経験があっても、管理や業務は主任と同じではありません。管理職としては、客観的な洞察といえますが、そこらへんは、引いて見るように、というアドバイスをすることがあります。  
●どの部署にいても毎日楽しく仕事をするのが一番です  
——管理職に就かれた方に、いろいろアドバイスをされる際、心掛けていることはどのようなことですか。  
中村 私は後二年で六十五歳になります。ここらへんが潮時かなと思う気持ちがあるって、管理職をやらせていただいた経験の中で、後輩に伝えられることは伝達しているかと思っています。  
私の経験では、管理がちゃんとしていると、入居者の皆様の笑顔が増えることになりました。もし、職員の仕事にバラつきが見られると、それが事故の元になることがあるので、その点は見逃すことはできません。  
そのようなバラつきが見られるようになるのは、コミュニケー

ション不足であるとか、職員一人ひとりの気持ちの中に、気配りや心配が多いということがあります。そのようなことにならないためには、どの部署においても、楽しく仕事をすることが一番だと思います。  
——大勢の職員と一緒に仕事をされていますが、喜びを感じるのどのような時ですか。  
中村 始めにも言いましたが、前日の仕事に関する情報を集めてメモにし、それを持って施設内を回ります。その時、爪切りも一緒に持って行きます。  
私は、爪切りの講習を受けて、入居者の爪を切るようになったのですが、入居者の皆様は、そのことを知っていて、私が行くたびに「こっちに来て」と声を掛けてくださるとか、「待ってました」と言うことで爪を切ることで、すぐ顔馴染みになれました。それは嬉しいことでした。(インタビュー・本文構成 本誌編集部)

### ■施設見学、随時行っております。お気軽にお問い合わせください。

2018年4月1日、全室個室のユニット型、特別養護老人ホームとしてオープンしました。スタッフ一同、優しい心と丁寧な言葉、ご利用者様一人一人の人間性を尊重した、きめ細やかなケアをモットーにご利用をお待ちしております。

●施設見学、随時行っております。お気軽にお問い合わせください。  
〒192-0916 東京都八王子市みなみ野 6-21-1  
TEL : 042-635-5015 FAX : 042-635-5016



## 人間性復活

2025年3月1日発行  
第50巻第1号(通刊192号)  
編集者 星 博信

発行所 一般社団法人 人間性復活運動本部  
〒150-0044 東京都渋谷区円山町 24番 6号  
神泉共栄ビル 4F  
mail : info@ningensei.or.jp  
https://www.ningensei.or.jp/  
「人間性復活」は特許庁に商標登録されています。  
登録番号：第 4752840 (平成 26 年 7 月 29 日再取得)